

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES'16

平成28年12月3日発行
発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

第13号

アビバースト
ヘルスプロモーション



11月16日

水曜夜コース
受講生10名

本日の流れ

- ・ラジオ体操
- ・イベントスケジュールを練る
- ・導入部分の練習

第12回 遊びと健康のタウンミーティングを準備しよう

▼ どんどん具体化！デモンストレーションも



▲総合司会のお二人。残念ながらNさん(左)は当日のイベント開始時間に間に合わなくなってしまったため、代打が出る予定。

前回の講座ではグループごとに案を練ったが、今回は出席者全員で全体の流れを具体的にしていく作業から開始。話し始めてみると「ここってこれで大丈夫かな？」「こうしておいた方が、参加する人に伝えるときにいいんじゃない？」など、いろいろな気づきがある。

次に、イベントをPRする時、友人・知人を誘う時にはどんな誘い文句が良いのかについて話し合った。具体的に誘う相手を想像してみると、良いフレーズがどんどん！

この日、一番議論が白熱したのは、“タマシチェック”の項目について(参加する前と比べてタマシも含めてヘルシーになったかをはかる、今回のイベント独自の健康チェック)。「それ良いね！」「う～ん…それ、私も最近無いかも…」などなど受講生自身も“タマシチェック”ができたようだ？多くの個性的な項目が出ていたが、どんな設問になったのかは当日のお楽しみ！

その後は当日、前に出て話す方々の練習へ突入。総合司会は欠席裁判ならぬ“出席”裁判により決定！さすが“大人”の皆さまである。(下に続く。)

▼ 講座の後も、着々と進む準備

講座終了後、受講生による準備が急ピッチで進んでいる。

11月21日(月)にはイベント中に行う大事なアレの練習を。

(注：イベントへのご参加を検討されている皆さま、決して怪しいものではありませんのでご安心を！)

また、11月26日(土)には作戦会議&会場の下見も行われており、この間にもメール上のやりとりが活発にされていた。

そんなこんなで、さあ、いよいよ12月3日はイベント本番！

天気に恵まれますように！(文：穴見)

▼会場(西荻地域区民センター)を確認するメンバー。



大事なアレの練習中▶



感想集

- ・タマシのチェック項目案に出た「最近 きゅんとしていた」は、う～ん?!12/3(土)イベント当日までにきゅんとしてみます。
- ・最後のチェックをした。これで12/3が楽しみになりました。成功を願って、当日を楽しむぞー！
- ・オヤジ族の集客、必要ですかね。
- ・“ジェットストリーム。遠い地平線が消えて深々とした夜の間に心を休める時、遙か雲海の上を音もなく流れる気流は～”さてさて、どの様な流れになりますやら、当日の出たとこ勝負感あり。オヤジを2～3名連れて行きたい。“このコウジティップが美味しくあなたのおクチに溶け込んで行きます様に…
- ・あとは当日迎えるのみ!?楽しみたいです～(・×・)ノ

土曜昼コース
11月19日

だがしや楽校入門編 ～気軽な“みせ開き”でまちに出よう～

第12回 地域への一歩を踏み出す「だがしや楽校」を開催しよう！

「区役所うらのだがしや楽校」開催！

11月19日、阿佐谷南児童館駐輪場と、お食事処「昌楽」にてだがしや楽校が開催された！心配されていた雨は午前中で上がったものの、非常に寒い中での開催となった。さてさて、どのような「自分みせ」が行われたのだろうか？



ブックカバーワークショップは準備した5セットが完売！

児童館コーナー



毛糸のスマホケースや食器洗いなどを紹介＆体験も。

ラグビーW杯紹介コーナー。カッコいいプロモーション映像も！



昌楽コーナー

昌楽さんの店先で、受講生もちよりフリーマーケットを開催。紀州産ゆずが注目の的に！？昌楽ママさん手作りおでんも人気。



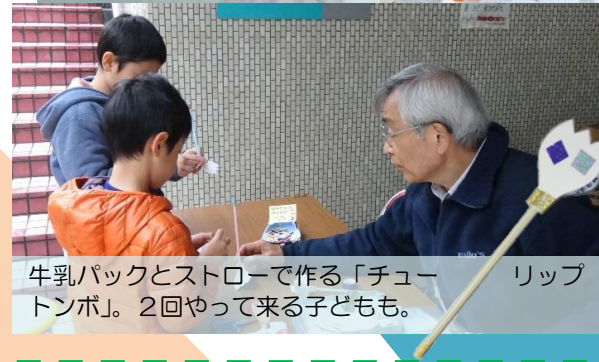
スペシャルゲスト、有光さんによるハーモニカの調べが場を和ませる…♪



秋らしい模様のスタンプで、オリジナルのぼち袋作り♪



店内では、明日丘エルさんのお笑いトークショーが。次のステージのオファーもあったとか…。



牛乳パックとストローで作る「チュートンボ」。2回やって来る子どもも。

雨上がりかつ気温も低いせいか、残念ながら客足は今ひとつ。だが終了後の振り返りでは、自分の設定した目標を達成できた、子どもたちとじっくり交流できた、今後の自分の活動につながる出会いがあった、どんな環境でも意外とできるということが分かった…等のコメントが。谷原さんは、「寒い、お客さんが来ない、といった事は開催時期や広報を工夫すればすぐに解決できること。今回、こうした環境でも活動できるということが実感できたこと、皆で知恵を寄せ合ってフリマのような活動が生まれたことなどは、皆さんの地域活動の体力がついている証。素晴らしい！」とお話された。

次回は、東京大学大学院の牧野先生に再びお越しいただき、一年の活動報告をする。だがしや楽校が、先生の言う「地域で豊かに生きる」ことにつながっているか？考える貴重な機会だ。(遠藤)

◆「すぎなみ大人」熟”してる？の発行にあたって◆この新聞は事務局スタッフの視点と記録に基づき作成しております。

